

活動プロ B-10 (自然ふれあい活動) 雪遊び・そり遊び

そり遊びは、昔から親しまれてきた冬の代表的遊びのひとつです。銀世界の大自然の中で、夢中になって遊んだ経験は、決して忘れられない思い出となることでしょう。冬の自然に親しむ心を養うとともに、雪の中で体力を高めながら協同と友愛の精神を養う活動です。

1. 活動場所

- ・そり遊び：自然の家アーチェリー場内
- ・雪遊び：みどりの広場など

2. 準備

自然の家 (玄関前)	そり(60台)、 スコップ
個人・団体	防寒具・手袋・帽子 など



3. 実施方法

(1) 雪遊び(みどりの広場、アーチェリー場)

＜例：バケツ落とし雪合戦＞

<ol style="list-style-type: none"> 1 広場の中央に、そりを6～8mはなして2列に並べ中央分離帯とする。 2 雪合戦の目標となるバケツは中央分離帯そばに、つくった雪の山の上のせておく。 3 「始め」の合図と共に、バケツや人を目掛けて、雪玉を投げつける。 4 雪玉に当たった人は、アウトとなり攻撃できないが、自分の陣地で雪玉作りはできる。 5 早く相手方のバケツを全部落としたチームを勝ちとする。 6 バケツは残っていても、チーム全員が雪玉に当たり、アウトとなった時は負けとなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中央分離帯のはばを学年に応じて配慮すること。(小：6～8m) ○ 雪の山の数は、両チームとも同じくする。 ○ 安全性を考え、顔をねらって投げたり、中央分離帯に入って投げたりしないようにする。 <p>〔変形〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 人に当てていけないルールで、バケツ落としをすれば、低学年向けのゲームとなる。
--	--

(2) そり遊び(みどりの広場、アーチェリー場)

4. 実施上の留意点

- (1) コースの事前踏査をし、安全面の確保をする。
- (2) 全員で協力し、単独行動はとらないようにする。
- (3) 寒さ対策を十分し、健康管理に努める。